子どもたちの「なぜ？」を、地域と育てる小中学校の探究学習サポーター募集

～先生に寄り添い、長島ならではの探究学習を支える仕事～

長島町の探究学習サポーターとは

長島町には、ブリ養殖や農業、島の暮らし、自然、歴史文化など、子どもたちの学びにつながる地域資源があります。一方で、地域の人や題材を学校の学習活動につなぎ、翌年度以降も活用できる形で記録・共有する仕組みは、まだ十分に整っていません。

そこで今回、先生と地域の間に入り、長島ならではの探究学習を一緒につくる「小中学校の探究学習サポーター」を募集します。自ら授業をつくって学校に持ち込むのではなく、先生や地域の方の話を聞き、人・場所・仕事を学習活動につなぎ、子どもたちが自ら問いを立てて学ぶ機会を支える仕事です。

3 年間の活動を通じて、隊員の任期終了後も学校と地域がつながり、長島ならではの探究学習を続けられる状態を目指します。



長島町の地域と学校で行われている学びの様子

活動内容

先生や地域の方と協働しながら、長島ならではの探究学習を試し、記録し、隊員の任期終了後も学校と地域が継続して実践できる仕組みを整えることが、活動内容です。

着任後すぐにすべての学校を担当するのではありません。まずはモデル校を中心に学校や地域との関係を築き、小さな実践から始めます。その成果を整理し、受入体制が整った学校へ段階的に広げます。

探究学習とは

児童生徒が自ら課題や疑問を見つけ、その解決に向けて情報を集め、考えたことをまとめ、表現する学びです。長島町でも、地域の産業や自然、文化を題材に、フィールドワークや住民へのインタビューを取り入れた学習が行われています。

具体的な仕事内容

1 地域の学びの種を見つける

・地域住民、漁業者、農業者、事業者等への聞き取り
・学習に活用できる人、場所、仕事、自然、地域課題の整理
・学校の希望や授業計画との接点を探す

2 先生と一緒に探究学習を試す

・モデル校の先生との授業・活動の検討
・地域人材との連絡調整
・フィールドワークや交流活動の運営支援
・子どもたちの問いや振り返りの支援

3 実践を次年度につなぐ

・授業や活動の記録
・地域人材・地域資源情報の整理
・実践事例や教材の共有
・他校でも活用できる形への改善
・学校・教育委員会への引き継ぎ

サブ業務

・他地区の教育実践を調べ、長島町の教育に生かせる情報を収集する
・地域の行事や会合に参加し、地域との関係を深める
・町内外で活動する地域おこし協力隊と連携する
・任期後の定住・定着に向けた活動を行う（メイン業務に支障のない範囲）

隊員が行わないこと

・教員の代わりに授業運営や児童生徒の指導を恒常的に担うこと
・日常的な学級事務や欠員補助を主な仕事とすること
・教育課程や授業内容を隊員一人で決定すること
・着任当初から町内すべての学校を一度に担当すること

3年間の活動イメージ

1年目 知る つながる 小さく試す

学校と地域を知り、小さな実践に向けた土台をつくります。

・探究学習に関する研修・視察
・町内学校の状況やニーズの把握
・地域資源・地域人材への聞き取り
・モデル校の先生との関係づくり
・小規模な授業・活動の試行と記録

2年目 先生と一緒に実践し 改善する

モデル校で長島ならではの探究学習を実践し、先生・子ども・地域の声を基に改善します。

・モデル校での授業・活動の共同実践
・フィールドワークや地域人材との交流
・実践後の振り返りと改善
・授業資料、地域資源情報、連携手順の整理
・実践事例の校内・学校間共有

3年目 共有し 引き継ぐ

これまでの実践を、希望する学校でも活用できる形に整えます。

・希望する学校への事例説明と導入支援
・教材、地域人材情報、連携手順の整理
・学校・教育委員会への引き継ぎ
・任期後の活動や働き方の検討

任期後のキャリア

3 年間の活動を通じて、探究学習の企画、地域人材との調整、授業プロジェクトの運営、記録・発信等の経験を積みます。

任期終了後は、教育・子育て分野のコーディネーター、地域団体や事業者と連携した教育事業、放課後・社会教育活動、地域資源を生かした事業等への展開を想定しています。本人の希望と町内の受入環境を踏まえ、任期中から将来の働き方や活動の継続方法を一緒に検討します。

秋のある 1 日の例

時間	内容
7:00	起床。旬の温州みかんを朝食に。
8:15	長島町役場指江支所の学校教育課に出勤。
8:30	メール確認、授業・訪問の準備。
10:00	小学校へ。探究的な学びの授業で子どもたちと先生をサポート。
12:30	学校で昼食（給食）。
14:00	先生と地域資源を生かした授業の構想を打ち合わせ。
15:30	役場に戻り、企画や記録を整理。
17:00	業務終了。

活動を通して出会う人たち

教頭先生、地域おこし協力隊現役隊員・経験者の３名にインタビュー。インタビュー記事本編は、note にて公開しています（こちら）！

地域おこし協力隊 岡本雅生さん（インタビュー抜粋）

2026 年 5 月から、長島町教育委員会所属の ICT 支援員として活動しています。富山県出身で、鹿児島大学大学院を卒業後、東京の IT 企業に就職。将来は学校教育に携わりたいという思いと、鹿児島に戻りたいという希望から長島町へのＩターンを決めました。



地域おこし協力隊 岡本雅生さん

活動内容を教えてください

学校の校務の DX 化を進めています。生徒や先生が快適にパソコンを使って授業を受けられるよう、デジタル機器の環境整備や使用方法のサポートを行い、担当する町内の小中学校を巡回しています。

長島町で活動して感じることは

九州本土と橋でつながっている便利さがありながら、文化や暮らしには島らしさがあります。地域行事を通じて町民の方と顔を合わせる機会が多く、地域になじむきっかけになっています。

応募者へのメッセージ

学校の先生方は、大半が町外出身者であり、協力隊と共感できる部分があります。住民との接点を生かしながら学校と地域をつなげられることが、地域おこし協力隊の強みです。学校での日常や町での暮らしを楽しみながら取り組める方にぜひ来ていただきたいです。

学校教育課の受入体制、担当者からのメッセージ

担当職員 永田大輔（課長補佐兼指導第一係長）、 岩下周平（主幹兼指導第二係長）



学校教育課の担当職員

初めての土地や学校現場で活動することに、不安を感じることもあると思います。教育現場での経験が無い方もご安心ください。着任後は学校教育課が、学校との連絡調整、地域人材の紹介、活動計画の確認、定期的な振り返りを行い、活動に伴走します。

最初から完成した授業を求めるのではなく、先生や地域の方の話を聞きながら、小さな実践を一緒に重ねていきます。隊員だけに任せるのではなく、学校・教育委員会・地域がそれぞれの役割を担います。一緒に長島町の探究的な学びを推進していきましょう！

こんな方を歓迎します

・教育や子どもの学びに関心がある方
・相手の考えを尊重し、先生や地域の方と一緒に試行錯誤できる方
・人と人の間に入り、連絡や調整を丁寧に進められる方
・活動を文章や写真で記録し、分かりやすく整理できる方
・水産業、農業、環境、地域文化等を学びの題材として生かしたい方
・長島での暮らしを楽しみ、地域との関係を築く意欲がある方

※教員免許や学校勤務の経験は必須ではありません。教育、子どもの活動、企画・調整、取材・編集、情報発信等の経験を生かせます。

長島町での暮らし

鹿児島県の最北西に位置する長島町。４つの有人島（うち１つは離島）からなるこの町には、約９０００人が暮らし、７つの小学校と、５つの中学校があります。長島本島は黒之瀬戸大橋で九州本土とつながっており、近隣の市町との交流も盛んです。町内での移動や学校訪問には車が基本となります。地区や島によって生活環境が異なるため、選考過程やおためし協力隊の機会に、実際の活動場所と暮らしを確認していただきます。



長島町の海と島々

養殖ブリやマダイなどの水産業、じゃがいもや柑橘類等の農業は、長島町を代表する産業であり、子どもたちの探究学習にもつながる地域資源です。地域行事や住民との日常的な交流も、地域を知る大切な機会になります。





募集要項

募集対象

・年齢　着任日に、年齢が 18 歳以上
・性別　問いません
・現在、都市地域に居住し、委嘱後に長島町内へ生活拠点と住民票を移せる方
・普通自動車運転免許を有する方（AT 限定可、ペーパードライバー、取得見込み可）
・Word、Excel、PowerPoint 等の一般的な操作ができる方
・日本語で報告書やレポートを作成できる方
・健康で、地方公務員法第 16 条の欠格条項に該当しない方
・写真・取材等の広報活動に協力できる方
・自治会へ加入し、地域との関わりを大切にできる方
・任期終了後の長島町への定住・定着に意欲がある方

※現住所が応募対象となるか不明な方は、応募前にお問い合わせください。

・募集人員 若干名

勤務地と勤務時間

勤務地 長島町役場指江支所 教育委員会学校教育課

活動地 町内の小中学校等

勤務日 原則として月曜日から金曜日

勤務時間 原則として午前 8 時 30 分から午後 5 時 00 分まで 休憩 60 分

休日 土曜日 日曜日 祝日 年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

※イベントや活動内容により休日出勤となる場合は、勤務日を振り替えます。

任用形態と期間

地域おこし協力隊 パートタイム会計年度任用職員として長島町長が任用します。

令和 8 年度採用 任用の日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

令和 9 年度採用 任用の日から令和 10 年 3 月 31 日まで。

※活動実績等を踏まえて 1 年ごとに更新し、最長で任用の日から 3 年まで延長します。

給与

賃金月額 約２１万円（日額 10,081 円）

期末手当及び勤勉手当 在職期間に応じて 6 月・12 月に支給

※給与、期末手当及び勤勉手当を含め年間 3,500,000 円以内。所得税、社会保険料等が控除されます。人事院勧告等により支給額・支給率が変わる場合があります。

待遇と主な活動費

・社会保険、雇用保険、非常勤職員公務災害補償あり
・町が紹介する住宅あり
・年次有給休暇、特別休暇あり
・家賃補助または活動用車両の貸与
・研修・視察に伴う旅費、業務用消耗品、燃料費、携帯電話使用料、研修会参加費等を予算の範囲で支援

※活動費の詳細は着任後に説明します。支出は行政担当者が管理します。

応募と選考

受付期間

令和 8 年 11 月 16 日 月曜日から令和 8 年 12 月 25 日 金曜日まで 閉庁日を除く

受付時間 午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

※郵送の場合は、12 月 25 日までの消印があるものに限り受け付けます。

提出書類

(1) 応募用紙_小中学校の探究学習サポーター
これまでの活動の中でアピールしたい点などの資料があれば併せて提出してください。
(2) 長島町会計年度任用職員募集申込書（Excel）
(3) 住民票（写し可）
扶養家族や一緒に移住を考えている方などがいる場合は住民票の謄本を提出してください。
(4) 運転免許証の写し（表面、裏面ともに必要）
運転免許証を取得済みの方は、運転免許証の写し（表面・裏面）を提出してください。応募時点で取得していない方は提出不要ですが、着任日までに免許を取得し、取得後速やかに写しを提出してください。
(5) その他
障害者手帳等をお持ちの方は試験時における配慮等のため、手帳等（氏名及び障がいの内容が確認できる箇所）の写しを併せて提出してください。
(6) 令和９年度当初予算注意事項
この募集は、令和９年度当初予算の成立を前提に実施するものです。このため、当初予算案が可決、成立しない場合は採用を行わない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、このことに伴い応募者に損害が生じた場合であっても町はその損害について一切負担しません。

審査方法

第 1 次選考 書類選考。結果は令和 9 年 1 月 8 日までにメールで通知します。

おためし協力隊 第 1 次選考合格者を対象に、令和 9 年 1 月 29 日午後から 1 月 31 日午前まで、2 泊 3 日の体験プログラムを予定しています。

※参加は原則必須です。旅費は自己負担、宿泊費は町の委託業者が負担します。全日程への参加が難しい場合は応募前にご相談ください。

第 2 次選考 最終面接。日時等は対象者に別途通知します。

申込み 問い合わせ窓口

〒899-1498 鹿児島県出水郡長島町鷹巣 1875 番地 1

長島町役場 地方創生課地方創生係

電話 0996-86-1101 （直通）

FAX 0996-86-0950

メール chisei@town.nagashima.lg.jp

長島町公式ホームページ https://www.town.nagashima.lg.jp/